

MVC-MA7-SMAF

(コマンドライン版)

ユーザーズマニュアル

Ver.1.1.0

2006/2/17

ヤマハ株式会社

本書の著作権は、ヤマハ株式会社に属しています。
本書の内容の転載・一部複製には、ヤマハ株式会社の承諾が必要です。
また、本書の内容は予告なく変更される場合があります。



Copyright© 2005-2006 YAMAHA CORPORATION

All rights reserved

<はじめに>

この書は、携帯端末用コンテンツである **SMAF/MA-2** のチャンネル毎の音量(**Channel Volume**)、及び **SMAF/MA-3**,**SMAF/MA-5** の全体音量(**MasterVolume**),**SMAF/MA-7** の全体音量(**MasterVolume**), **MaxGain** を調整するためのコンソールアプリケーション・ソフトウェア (**MasterVolume Converter for SMAF/MA-7** 以下 **MVC-MA7-C-SMAF**)を対象とします。

<更新履歴>

Ver.	Date	内容
1.0.0	2005/12/19	新規作成
1.1.0	2006/2/17	4.1 オプション <表 4-1> -e オプション追加 4.1.1. Effect ボリューム調整について 4.2 オプション入力時の注意点 説明追加 6 処理結果表示 <図 7-1>、<図 7-2>変更 MVC-MA7_result.txt<表-7>の表記に Effect ボリューム変更に関する記述を追加

<目次>

1	MVC-MA7-C-SMAF	5
1.1	概要	5
1.2	対象フォーマット.....	5
1.2.1	入力フォーマット.....	5
1.2.2	出力フォーマット.....	5
1.3	推奨動作環境.....	5
2	インストール.....	6
3	ボリュームの設定について.....	6
3.1	ボリューム変換のしくみ（増減値(dB)入力の場合）	7
3.2	チャンネルボリュームがない場合(SMAF/MA-2 の場合).....	7
4	コンソールアプリケーション	8
4.1	オプション	8
4.1.1	Effect ボリューム調整について.....	9
4.2	オプション入力時の注意点	9
5	初期設定ファイルの設定	11
6	処理結果表示.....	12
7	戻り値	14
8	エラーメッセージ一覧.....	15
8.1	Detail メッセージ	15
8.1.1	OK の場合	15
8.1.2	NG の場合	15

1 MVC-MA7-C-SMAF

1.1 概要

MVC-MA7-C-SMAF は携帯端末用の SMAF (Synthetic Music Mobile Application Format) の音量を調整するための Windows®2000、Windows®XP 上で動作するコンソールアプリケーション・ソフトウェアです。

SMAF/MA-2 の場合は、チャンネル毎の音量(ChannelVolume)を、SMAF/MA-3、SMAF/MA-5 の場合は、全体音量 (MasterVolume) を

SMAF/MA-7 の場合は、全体音量 (MasterVolume)、MaxGain を調整します。

調整方法には増減値(dB)での調整と、絶対値での調整の 2 種類あります。

1.2 対象フォーマット

1.2.1 入力フォーマット

1.2.1.1 SMAF

MVC-MA7-C-SMAF は、SMAF/MA-2,SMAF/MA-3,SMAF/MA-5, SMAF/MA-7 のフォーマットに対応しています。

1.2.2 出力フォーマット

1.2.2.1 SMAF

入力ファイルに対して以下の変更を行います。

- ・ 音量を変更
- ・ A0 タグの ATSig 変更

1.3 推奨動作環境

本アプリケーションは、以下に準じた動作環境が必要です。

対応 OS	Microsoft® Windows® XP Microsoft® Windows® 2000
CPU/クロック	Pentium®, Celeron™、または互換プロセッサ/ 266MHz 以上
メモリー	64MB 以上
必要なハード ディスク 空き 容量	40MB 以上 この他に、入力する全ファイルの合計サイズ程度の空きを必要 とします。

本マニュアルで使用されているすべての製品名は、各社の商標および登録商標です。

2 インストール

MVC-MA7-C-SMAF は、以下の 2 つのファイルで構成されています。

- ・ MVC-MA7-C.exe (MVC-MA7-C 実行ファイル)
- ・ MVC-MA7.ini (MVC-MA7-C 初期設定ファイル)

上記のファイルを任意のディレクトリに置いてください。

3 ボリュームの設定について

MVC-MA7-C-SMAF では以下、2 つのボリューム設定方法を選択できます。

設定方法	説明
相対増減値(dB)入力	<p>SMAF 内のボリュームに対して、何 dB 増減させるか、dB 値で入力します。</p> <p>SMAF/MA-2 の場合、全チャンネルボリュームに対して元の音量バランスを保ちながら一律で音量を変更させることができます。</p> <p>SMAF/.MA-3,MA-5 の場合は、全マスターボリュームに対して元の音量バランスを保ちながら一律で音量を変更させることができます。</p> <p>SMAF/MA-7 の場合は、MaxGain、全マスターボリュームに対して元の音量バランスを保ちながら一律で音量を変更させることができます。 まずは MaxGain を 0dB から-12dB の範囲で変更し、それからマスターボリュームを変更させます。</p>
絶対値入力	<p>SMAF 内のボリューム値を指定された数値に置き換えます。</p> <p>SMAF/MA-2 で、同チャンネルに複数個ボリュームがあった場合、全て指定された数値に置き換えます。</p> <p>SMAF/.MA-3,MA-5 の場合は、複数個マスターボリュームがあった場合、全て指定された数値に置き換えます。</p> <p>SMAF/.MA-7 の場合は、MaxGain を指定された数値に置き換えます。</p>

＜表 3-1＞ボリューム設定方法

[NOTE]

絶対値入力では、SMAF/MA-2 で同チャンネルに複数個チャンネルボリュームがあった場合、または SMAF/MA-3、MA-5 で複数個マスターボリュームがあった場合、それぞれ指定されたボリューム値で全て置き換えてしまうので、元の音量バランスを崩す恐れがあります。
ご使用の際はご注意ください。

3.1 ボリューム変換のしくみ（増減値(dB)入力の場合）

ボリューム増減値を dB 値で指定する場合は、ボリュームを dB 変換し、指定された値を増減したのち逆 dB 変換します。

[NOTE]

SMAF/MA-2 と SMAF/MA-3,MA-5,MA-7 では dB 変換と逆 dB 変換のテーブルが違うため、同じ dB 値で増減させても変換後のボリューム値が若干異なる場合があります。

3.2 チャンネルボリュームがない場合(SMAF/MA-2 の場合)

■ 1 から 16 チャンネルの場合

最初のノートメッセージまでにチャンネルボリュームが無い場合、シーケンスデータの先頭にデュレーション 0 のチャンネルボリュームを挿入します。併せて **Seek & Phrase Info Chunk** 内の **Start Point** と **Stop Point** の位置をシフトします。

■ ADPCM チャンネルの場合

最初のノートメッセージまでにチャンネルボリュームが無い場合、シーケンスデータの **Start Point** の位置にデュレーション 1 のチャンネルボリュームを挿入します。併せて **Seek & Phrase Info Chunk** 内の **Stop Point** の位置をシフトします。

[NOTE]

End of Sequence の位置がずれないように ATR チャンク内でデュレーションの調整をします。

4 コンソールアプリケーション

4.1 オプション

アプリケーション名 **MVC-MA7-C** に続いて以下のオプションを指定してください。
 { } で囲まれたオプションは省略可能です。

オプション名	説明	指定範囲
-i 入力ファイル名	入力する SMAF ファイル名を指定します。 256 バイト以上のファイルパスはエラーになります。	
-o 出力ファイル名	出力ファイル名を指定します。 256 バイト以上のファイルパスはエラーになります。 拡張子は必ず .mmf を指定してください。 出力先に同名のファイルが存在する場合は上書きされます。	
相対値指定		
{ -db dB 値 }	ボリューム増減値を相対値 (dB 値) で指定します。	-60～60
絶対値指定		
{ -mg dB 値 }	MA-7 SMAF ファイルが入力された場合の MaxGain を dB 値で指定します。	0～12 0.5 刻みで増減
{ -mv Volume 値 }	MA3/5 SMAF ファイルが入力された場合の Master Volume 値を指定します。	0～127
{ -c1 Volume 値 }	MA2 SMAF ファイルが入力された場合の Channel 1 の Channel Volume 値を指定します。	0～127
{ -c2 Volume 値 }	MA2 SMAF ファイルが入力された場合の Channel 2 の Channel Volume 値を指定します。	0～127
{ -c3 Volume 値 }	MA2 SMAF ファイルが入力された場合の Channel 3 の Channel Volume 値を指定します。	0～127
{ -c4 Volume 値 }	MA2 SMAF ファイルが入力された場合の Channel 4 の Channel Volume 値を指定します。	0～127
{ -c5 Volume 値 }	MA2 SMAF ファイルが入力された場合の Channel 5 の Channel Volume 値を指定します。	0～127
{ -c6 Volume 値 }	MA2 SMAF ファイルが入力された場合の Channel 6 の Channel Volume 値を指定します。	0～127
{ -c7 Volume 値 }	MA2 SMAF ファイルが入力された場合の Channel 7 の Channel Volume 値を指定します。	0～127
{ -c8 Volume 値 }	MA2 SMAF ファイルが入力された場合の Channel 8 の Channel Volume 値を指定します。	0～127
{ -c9 Volume 値 }	MA2 SMAF ファイルが入力された場合の Channel 9 の Channel Volume 値を指定する。	0～127
{ -c10 Volume 値 }	MA2 SMAF ファイルが入力された場合の Channel 10 の Channel Volume 値を指定します。	0～127

{ -c11 Volume 値 }	MA2 SMAF ファイルが入力された場合の Channel 11 の Channel Volume 値を指定します。	0～127
{ -c12 Volume 値 }	MA2 SMAF ファイルが入力された場合の Channel 12 の Channel Volume 値を指定します。	0～127
{ -c13 Volume 値 }	MA2 SMAF ファイルが入力された場合の Channel 13 の Channel Volume 値を指定します。	0～127
{ -c14 Volume 値 }	MA2 SMAF ファイルが入力された場合の Channel 14 の Channel Volume 値を指定します。	0～127
{ -c15 Volume 値 }	MA2 SMAF ファイルが入力された場合の Channel 15 の Channel Volume 値を指定します。	0～127
{ -c16 Volume 値 }	MA2 SMAF ファイルが入力された場合の Channel 16 の Channel Volume 値を指定します。	0～127
{ -ca Volume 値 }	MA2 SMAF ファイルが入力された場合の ADPCM Channel の Channel Volume 値を指定します。	0～127
{ -l ログファイル名 }	指定されたログファイル名でログファイルを出力します。 256 バイト以上のファイルパスはエラー	
{ -e }	SMAF/MA-7 変換時に Effect のボリューム調整を行います。 詳細は、4.1.1Effect ボリューム調整についてを参照	
{ -h }	オプション一覧を出力します。	
{ -v }	MVC-MA7-C のバージョン番号 (3 桁) を出力します。 表示例 : MVC-MA7-C Ver. 1.1.0 (Dec 12 2005 10:00:00)	

<表 4-1> オプション一覧

4.1.1 Effect ボリューム調整について

—e オプションを指定することにより、Effect のボリューム調整を行います。

SMAF/MA-7 入力時に有効です。

Effect の種類によって全体音量を下げてでも追従して音量が下がらないものがあります。このオプションを指定することにより、全体音量に追従して下がるように調整します。

該当する Effect は、Distortion、Overdrive、Amp Simulator、Compressor です。

これらの Effect を使用している時は、—e オプションを指定することをお勧めします。

4.2 オプション入力時の注意点

- ・ 相対値指定(-db)と絶対値指定(-mg、-mv、-c*)のオプションが同時に指定された場合は、-db オプションを優先します。
- ・ 同一オプションが指定された場合は、後着優先とします。

以下の場合、INI ファイル<5 初期設定ファイルの設定>の値が使用されます。

- **-db, -mg, -mv, -c1～-ca** オプションが1つも指定されていない場合
INI ファイルの値<**DB_VALUE**>を使用して相対値で変換します。

- **-mv** オプションのみ指定されていて
 - **SMAF/MA-2** が入力された場合
警告“Not converted - Not Exist Target Volume”が表示されます。
 - **SMAF/MA-7** が入力された場合
INI ファイルの値<**MG_VALUE**>を使用して絶対値で変換します。

- **-mg** オプションのみ指定されていて
 - **SMAF/MA-2** が入力された場合
警告“Not converted - Not Exist Target Volume”が表示されます。
 - **SMAF/MA-3,5** が入力された場合
INI ファイルの値<**MV_VALUE**>を使用して絶対値で変換します。

- **-c1～-ca** オプションのみ指定されていて、
 - **SMAF/MA-3,5** が入力された場合
INI ファイルの値<**MV_VALUE**>を使用して絶対値で変換します。
 - **SMAF/MA-7** が入力された場合
INI ファイルの値<**MG_VALUE**>を使用して絶対値で変換します。

5 初期設定ファイルの設定

「MVC-MA7-C.exe」と同一フォルダ内にある「MVC-MA7.ini」が初期設定ファイルです。
このファイルで、MVC-MA7 立ち上げ時の各パラメータの初期値を指定します。

```
[SETTING]
TARGET_FILE=0
DB_VALUE=0.0
MV_VALUE=100
MG_VALUE=-12.0
```

<図 5-1>初期設定ファイル例

< TARGET_FILE >

変更しないでください。

< DB_VALUE . . . default dB value >

ボリュームを増減させる音量の初期値を設定します。

入力範囲は、-60.0[dB]から 60.0[dB]です。

入力値が範囲を越えている場合、上記の範囲内に自動調整されます。

不正値が設定されている時や、何も入力していない時は 0[dB]になります。

また MVC-MA7 終了時に、終了時点での値を保存します。

(例 dB に 0.0 を指定 DB_VALUE = 0)

-db、-mg、-mv、-c1～-ca オプションが設定されていない時は、当該値を使用して
相対値(dB 値)変換します。

< MV_VALUE . . . default MV value for SAMF/MA-3,MA-5 >

絶対入力の場合の MasterVolume の初期値を設定します。

入力範囲は 0 から 127 です。

不正値が設定されている時や、何も入力していない時は 0 になります。

また MVC-MA7 終了時に、終了時点での値を保存します。

(例 MasterVolume 値に 0 を設定 MV_VALUE = 0)

< MG_VALUE . . . default MaxGain value for SAMF/MA-7 >

絶対入力の場合の MaxGain 初期値を設定します。

入力範囲は 0 から-12 です。

不正値が設定されている時や、何も入力していない時は 0 になります。

また MVC-MA7 終了時に、終了時点での値を保存します。

(例 MaxGain 値に-12 を設定 MG_VALUE = -12)

6 処理結果表示

-1 オプションが指定された場合、以下のログファイルを出力します。
 以下がログファイルの出力例です。

IN:test1.mmf		SMAF/MA-2	Result:OK		Detail:Converted.(0)		Data:2005/12/12 20:14:30	
OUT:test_out.mmf								
Point[sec]	Channel/Track	Action	Before	Volume	After Volume			
0.000	1(MTR1)	Relative(-12.0dB)	[99]	51				
IN:test2.mmf		SMAF/MA-3	Result:OK		Detail:Converted.(0)		Data:2005/12/12 20:14:30	
OUT:test2_out.mmf								
Point[sec]	Channel/Track	Action	Before	Volume	After Volume			
0.000	MTR5	Relative(-12.0dB)	100	51				
IN:test3.mmf		SMAF/MA-5	Result:OK		Detail:Converted.(0)		Data:2005/12/12 20:14:30	
OUT:test3_out.mmf								
Point[sec]	Channel/Track	Action	Before	Volume	After Volume			
0.000	MTR6	Relative(-12.0dB)	100	51				
IN:test4.mmf		SMAF/MA-7	Result:OK		Detail:Converted.(0)		Data:2005/12/12 20:14:30	
OUT:test4_out.mmf								
Point[sec]	Channel/Track	Action	Before	Volume	After	Volume	Before	Gain
Before Level	After Level							
0.000	MTR7	Relative(-12.0dB)	---	---	24	24		
0.000	MTR7	Relative(-12.0dB)	127	64	---	---	64(R)	32(R)
30.588	MTR7	Relative(-12.0dB)	127	64	---	---	127(S)	127(S)
31.060	MTR7	Relative(-12.0dB)	125	62	---	---	---	---
31.528	MTR7	Relative(-12.0dB)	123	62	---	---	---	---
test5.mmf		SMAF/MA-7	Result:NG		Error:Nonsupport		Chunk ID in MTR.(-12)	
20:14:30							Data:2005/12/12	

< 図 6-1 > 「MVC-MA7_result.txt」ファイル例 1

IN:test1.mmf		SMAF/MA-2		Result:OK Detail:Not Converted - Not exist target volume.(0)			
Data:2005/12/12		20:08:24					
=====							
IN:test2.mmf		SMAF/MA-3		Result:OK Detail:Converted.(0)		Data:2005/12/12 20:08:25	
OUT:test2_out.mmf							
=====							
Point[sec]	Channel/Track		Action	Before Volume		After Volume	
0.000	MTR5	Absolute	100	100			
IN:test3.mmf		SMAF/MA-5		Result:OK Detail:Converted.(0)		Data:2005/12/12 20:08:25	
OUT:test3_out.mmf							
=====							
Point[sec]	Channel/Track		Action	Before Volume		After Volume	
0.000	MTR6	Absolute	100	100			
IN:test4.mmf		SMAF/MA-7		Result:OK Detail:Converted.(0)		Data:2005/12/12 20:08:24	
OUT:test4_out.mmf							
=====							
Point[sec]	Channel/Track		Action	Before Volume		After Volume	
Before Level	After Level					Before Gain	After Gain
0.000	MTR7	Absolute	---	---	24	24	

0.000	MTR7	Absolute	127	127	---	---	64(R)	64(R)
30.588	MTR7	Absolute	127	127	---	---	127(S)	127(S)
31.060	MTR7	Absolute	125	125	---	---	---	--
IN:test5.mmf SMAF/MA-7 Result:NG Error:Nonsupport Chunk ID in MTR.(-12)								
Data:2005/12/12 20:08:24								
=====								

<図 6-2> 「MVC-MA7_result.txt」ファイル例 2

以下が「MVC-MA7_result.txt」の内容説明です。

ログ種類	説明	表示例
IN:Filename	入力ファイル名を表示します。	test1.mmf
SMAF 種類	入力ファイルの SMAF 種類を表示します。 SMAF 種類が判別できない時は、“---”と表示します。	SMAF/MA-2
Result	処理結果を表示します。 OK/NG	Result: OK
Detail/Error	結果の詳細情報を表示します。 詳細情報については<8エラーメッセージ一覧>ご参照ください。 Error/Warning メッセージの後に(コード)を表示します。	Detail: Converted Error: Illegal ATSig. (-27)
Date	ファイルを変換した詳細日時を表示します。	Date : 2005/12/12 18:38:49
OUT:Filename	出力ファイル名を表示します。	OUT:test1_out.mmf
Point	Result: OK / Detail: Converted の場合に、変換したボリュームについて、曲先頭(Start Point の考慮は不要)からの時間を sec 単位(小数点以下 3 桁固定)で表示します。 それ以外の場合は当該項目を出力しません。	0.02
Channel/Track	<p>■SMAF/MA-2 の場合 Result: OK / Detail: Converted の場合に、変換したボリュームが存在する(Delete の場合は存在した)チャンネルのチャンネル番号、及び MTR を表示します。</p> <p>■SMAF/MA-3,MA-5,MA-7 の場合 Result: OK / Detail: Converted の場合に、変換したボリュームが存在する MTR を表示します。</p> <p>SMAF/MA-7 で、Effect ボリューム調整をおこなった場合 Result: OK / Detail: Converted の場合に、変換した SendLevel が存在するチャンネルのチャンネル番号、及び MTR を表示します。</p>	SMAF/MA-2 の場合 1(MTR1) その他 MTR7
Action	ボリューム変換処理方法を表示します。 Relative(*dB) 増減値入力(dB 値) Absolute 絶対値入力	Relative(60.0dB)
Before Volume	元のボリューム値を表示します。	0~127

	SMAF/MA-2 の場合で、元のチャンネルボリューム値が存在せず、新たに追加した場合は以下のように表示します。 ＜相対値入力(dB 値)の場合＞ [99] ※デフォルト値[NOTE] ＜絶対値入力＞ “---”	
After Volume	変換後のボリューム値を表示します。	0～127
Before Gain	元の MaxGain 値を表示します。 SMAF/MA-7 のみ該当します。	0～24
After Gain	変換後の MaxGain 値を表示します。 SMAF/MA-7 のみ該当します。	0～24
Before Level	元の ChorusSend, Return Level 値を表示する。 (R)が Retrun, (S)が Send を意味する。 Regulate Chorus オプションにチェックが入っていない時は表示しない。	1(R)～127(R) 1(S)～127(S)
Aafter Level	変換後の ChorusSend, Return Level 値を表示する。 (R)が Retrun, (S)が Send を意味する。 Regulate Chorus オプションにチェックが入っていない時は表示しない。	1(R)～127(R) 1(S)～127(S)

＜表 7＞ 処理結果内容

[NOTE]

MVC-MA7-C-SAMF の増減値(dB)入力で、入力された SMAF/MA-2 にチャンネルボリュームがない場合、チャンネルボリュームのデフォルト値を 99 として 99 に対する増減値でボリューム値を算出します。

7 戻り値

変換結果により標準出力、標準エラーに変換結果コード、メッセージを出力します。

(＜＜表 7-1＞戻り値＞参照)

変換結果コード、メッセージについては＜8 エラーメッセージ一覧＞を参照ください。

標準出力	変換結果コード
標準エラー	メッセージ

＜表 7-1＞戻り値

8 エラーメッセージ一覧

以下がメッセージコード一覧です。

MVC-MA7-C.exe の戻り値として以下の変換結果コードが返されます。

戻り値については、< 7 戻り値 >をご参照ください。

8.1 Detail メッセージ

8.1.1 OK の場合

変換結果 コード	メッセージ	説明
0	Converted.	ボリュームを変換しました。
0	Not converted - Not Exist Target Volume	ボリュームを変換しませんでした。 (SMAF/MA-2 の場合) - 絶対値入力モードで、全てのチャンネルのボ リューム入力が有効になっていません。

8.1.2 NG の場合

変換結果 コード	メッセージ	説明
-1	Nonsupport Chunk ID.	不明なチャンク ID を見つけました。
-2	Nonsupport File ID.	ファイル ID が MMMD でありません。
-3	File size error.	ファイルサイズエラーです。
-4	Not exist CNTIChunk.	CNTI チャンクが存在しません。
-5	Chunk size error in CNTI.	CNTI のチャンクサイズエラーです。
-6	Chunk size error in OPDA.	CNTI 内のタグサイズが不正です。
-7	Nonsupport Chunk ID in OPDA.	OPDA のチャンクサイズエラーです。
-8	Tag size error in OPDA.	OPDA 中にサポート外のチャンク ID があります。
-9	Chunk size error in Dch.	OPDA 中にサイズエラーのタグがあります。
-10	Chunk size error in Pro.	OPDA の Dch チャンクのチャンクサイズエラーです。
-11	Chunk size error in MTR.	OPDA の Pro チャンクのチャンクサイズエラーです。
-12	Nonsupport Chunk ID in MTR.	MTR のチャンクサイズエラーです。
-13	Chunk size error in MspI.	MTR 中にサポート外のチャンク ID があります。
-14	Chunk size error in Mtsu.	MTR1~7 の MtsI チャンクのチャンクサイズエラーで す。
-15	Chunk size error in Mtsp.	MTR1~7 の Mtsu チャンクのチャンクサイズエラーで す。
-16	Chunk size error in Mtsq.	MTR1~7 の Mtsp チャンクのチャンクサイズエラーで す。
-17	Sequence Data Error in Mtsq	MTR1~7 の Mtsq チャンクのシーケンスデー タエラー。
-18	Exclusive Message Size Error in Mtsq	MTR1~7 の Mtsq チャンクのエクスクルーシ ブメッセージサイズエラー。
-19	Sequence data error in Mtsq.	ATR のチャンクサイズエラーです。
-20	Exclusive message size error in Mtsq.	GTR のチャンクサイズエラーです。
-21	Chunk size error in ATR.	MSTR のチャンクサイズエラーです。
-22	Chunk size error in GTR.	不正な CRC があります。
-23	Chunk size error in MSTR.	.mmf ファイルではありません。
-24	File read error.	SMAF ファイルの読み書きに失敗しました。

	File write error.	
-25	File path is too long.	ファイルパス名が長すぎます。 この場合は処理を中止します。
-27	Illegal ATSig.	SMAF/MA-2 で OPDA が存在してかつ、 CNTI に ATSig が存在しています。 また SMAF/MA-3,MA-5 で CNTI に ATSig が存在しています。
-28	Not exist ATSig(A0).	ATSig(A0)が存在しません。
-29	MTR of the different SMAF kind exist.	異なる SMAF 種類の MTR が存在しています。
-30	Can not find MasterVolume.	MasterVolume が最初のノートメッセージの前に存在しません。
-31	Invalid StartPoint/EndPoint in MspI.	MspI 内の StartPoint/EndPoint が不正。
-32	Invalid StartPoint/EndPoint in AspI.	AspI 内の StartPoint/EndPoint が不正。
-33	Tag size error in CNTI.	CNTI 内のタグサイズが不正。
-34	Illegal Exclusive message in Mtsq.	Mtsq 内のエクスクルーシブメッセージが不正。
-35	Chunk size error in Atsq.	Atsq チャンクのチャンクサイズエラー。
-36	Chunk size error in Awa.	Awa チャンクのチャンクサイズエラー。
-37	Sequence data error in Atsq.	Atsq チャンクのシーケンスデータエラー
-38	Sequence data error.	シーケンスデータエラー(汎用)
-39	Chunk size error in AspI.	AspI チャンクサイズエラー
-40	Folder open error.	OUTPUT フォルダオープンに失敗しました
-43	Can not find MaxGain.	MaxGain が存在しません。